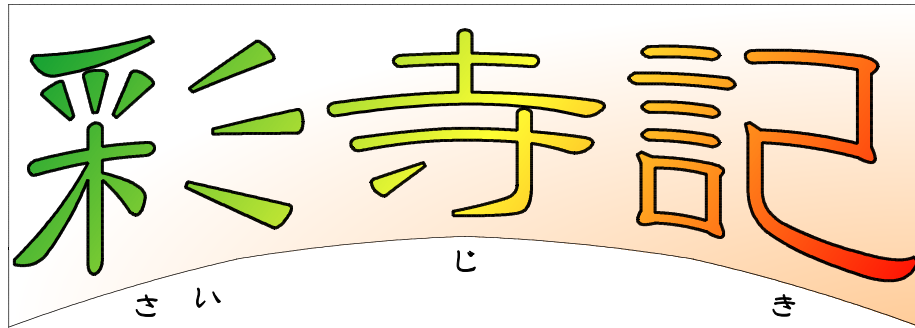




1年が終わります。支えていただいた皆さまに感謝いたします。

〽 初冬に拾う 〽
境内から



↑ 柿の紅葉

← 銀モクセイ

《 今年の営繕管理実績 》

【その1】外灯のLED化

母の供養にと武井昭男さんのご寄付によって外灯のLED化ができました。境内・石段の4灯を工事込みで新調していただきました。
夜間の境内が明るく安全になりました。



宝珠廬盤の保守は足場が無く命がけでしたが、ステンレス用の溶接機がある内になんとか造り上げました。

ステンレスのフラットバー・ボルト・ナット・アングル・アジャスターを組み釘は使

しません。部材の穴開けには和田鉄工所さんにもご支援をいただきました。

【その3】石像十三仏に天蓋で雨しのぎ

材料はアルミとステンレス、天蓋は大釜の蓋を再利用しています。



《 今年のイベントから 》



【お盆の記念法話】

越後宗務支所 布教長の関賢純師からご法話をいただきました。
人として最も大事な心の持ちようを「仁義礼智信」の字を用いて、分かり易く説いてもらいました。



《 浄心の樹 》

ジジ馬鹿が嬉しさの
余り孫の記念と称して
植えた枝垂れ花桃
昨年の秋に川内から
譲り受けたもので根付
きを心配しましたが、
3月には想定外の大量
の花を付け安堵しまし
た。濃い深紅の花です。
ピンポン玉くらいの
実を付けたものの食す
るには適さず、花を楽
しむもののようです。裏庭にあります。



《 惜しまれて他界された方々 》

ご冥福をお祈りいたします (平成5年度)

1/11 見竹治政様 92 7/30 常山ヨシ子様 95
7/30 長澤俊一様 85

《 法事・上げ齋供養等をなされた皆さま 》
ご熱心にご供養をなされました (平成5年度)

1/10 村山 穂高 様	5/27 村山 牧子 様
2/14 大塩 重則 様	5/28 丹羽 収 様
2/25 松井 裕 様	6/3 武井 辰夫 様
3/17 西村 美恵子 様	7/8 西村 善幸 様
3/25 西村 善幸 様	7/8 西村 道春 様
3/26 武井 勝則 様	7/27 和巻 吉子 様
4/8 大谷 浩一 様	8/12 西村 利夫 様
4/5 西村 栄治 様	8/15 山田 耕一郎 様
4/9 武井 昭男 様	9/15 西村 正和 様
4/9 西村 ミチヨ 様	9/27 黒崎 昇 様
4/23 見竹 美智代 様	10/4 船山 琢郎 様
5/4 西村 正一 様	10/7 吉崎 幸子 様
5/6 坂田 ヒデ子 様	10/20 武井 義明 様
5/14 吉野 春江 様	12/25 西村 正和 様
5/22 西村 吉子 様	

(布教研究所 島田希保師の法話から)

両親を買いだす子ども

ある施設でのお話です。

両親を早くに亡くし、児童養護施設を利用して子どもがいました。

その子はお正月など節目の時に施設からもらえるお小遣いを「お金を貯めて、いつかお父さんとお母さんをかうんだ！」と言って、一度も使いませんでした。

数年経ったある日、その子どもが「今度買いに行ってくるから貯めていたお金を出して欲しい」と、先生にお願いしてきました。「きつと以前からいっ

ていたお父さんとお母さんを買いたいにくのだろうけれど、どうやって買うのだろう」。先生は、今まで貯めたお金を手にして出て行ったその子の後ろ姿を、複雑な思いで見送ります。

少し経って、ようやく子どもが帰ってきました。手には紙袋に入った、真新しい塗りのお位牌を握りしめて。

念願のお父さんとお母さん

子どもは言いました。

「お父さんとお母さんが死んだ時のことを覚えてるよ」

「隣のおばあちゃんが、寂しいだろう、

自分もさ寂しい。私のおじいちゃんはおそこだよと、仏壇の中のお位牌を指さして教えてくれたんだ」

「だからこれが、お父さんとお母さんなんだよ」

法は人によって弘まり
人は法によって昇る

亡くなった人は、仏さまの世界からいつも見守ってくれているという実感は、大切な人を失った時に自分の大きな支えとなります。

お位牌に手を合わせる。お彼岸やお盆などの節目に家族でお墓参りをする。身近にある信仰の形と、その心を次世代に伝えていくことは、幸せや安心を育む大きな糧になるはず。

お大師様は「仏法は人の力によって伝わっていく、人は法によって人間性を豊にする」と諭されています。

今、私たちが未来を担う人たちに向けて出来ること、それは、目に見える物を残すだけでなく、目に見えない信仰も伝えることなのです。



若(?)夫婦のつづき

年末が近づくにつれ、お寺では住職指導のもと、家族総出で新年の準備に取り掛かります。御札作り、封筒作り等、全て手作業で行います。この作業が始まると、一年の終わりが近付いていることを感じます。大変ではありますが、家族で力を合わせる作業もやり甲斐があり、貴重な経験です。



また、檀家役員さんをはじめ、奉仕活動やボランティアに参加していただいている皆様には、お寺の維持管理にご尽力いただき感謝しています。今年も無事に一年を終えることが出来ました。ありがとうございました。

早いもので、2023 年があつという間に過ぎていきました。私事ですが、昨年の彩寺記でご報告した息子も、お陰様ですくすく育ち、今では小走りするまでになりました。最近では芸達者になり、大人の真似をしたり、リズムにのって踊ったりします。小さいながら様々なことを吸収している姿に毎日感動です。

皆様はどんな一年を過ごされましたか？来年も皆様に幸多き一年となりますようにお祈りしております。

副住職・妻 恵子

45年間 お寺を担ってきて・・・

今、お寺の運営・管理に憂う

(参加の無理な体調不良の方、代理の居ない方、県外遠方の方等を除きます。この皆さまには出来る形での支援を願います。)

★ 今、何を憂うのか 住職と役員の内憂と葛藤

- ◆ 役員のなり手が居ない
役員が体調不良により辞めたくても・・・
- ◆ 中には、若手に 無関心 と 逃げ の姿が散見
親御さんから若手に伝承と引き継ぎをしてください
- ◆ 行事はわずか3回、日曜の午前だけなのに・・・
行事には高齢者の皆さんしか見えず
今後は若手の皆さんが出席するようにしてください
- ◆ 2千円を払えば奉仕作業は免除 なのですが・・・
年々減る奉仕作業の人数
体の利く内はご協力ください
- ◆ 住職や役員に任せっきりにしないで！・・・

思い起こしてください！

蓮光院は檀家皆さまのもの
一軒一軒の財産・共有物

先祖、先人が残した掛け替えの無いもの
その先人の霊を祀り、守る所

弘法大師の教えを知り、己の道と家族を守る所

我が家の如く護るべきもの